

## 注意点

- ・ Plugin - SpeedJava が必要
- ・ InfoViewer が必要

## 説明

- ・ Java の編集の時に、選択されているクラス、メソッドのドキュメントを表示する
- ・ ドキュメントの検索場所は、マクロ内に書く。

### 【動作説明】

- 1 . SpeedJava の機能を使って選択されている文字列から、クラスまたはメソッド名を判別する。
- 2 . 判別したクラスやメソッド名を API ドキュメントのアドレスへ変換する  
例えば、String クラスの場合は「java/lang/String.html」を作成する。
- 3 . マクロ内の strBase 配列の文字列と上記で作成した文字列を結合し、そのパスを探す
- 4 . パスが見つかったらそのパスを InfoViewer で表示する

## ダウンロード